

事務事業評価シート

H28(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部
	08075-1	市単道路整備事業	室名	道路整備室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財 会計	一般会計
	基本施策	09:道路網の整備	務 款	土木費
施策体系	施策の方向	02:道路ネットワークの見直し	科 項	道路橋梁費
	戦略プロジェクト		目 目	道路新設改良費

② 目的・概要	対象	市民
	目的	本市のコミュニティー道路については、狭隘な道路が多く残っている状況である。災害に強い住環境の整備を行う上でもコミュニティー道路は、重要な役割を果たすものであることから、特に幹線との接続道路や防災上及び交通安全上の整備が必要とされる道路を中心として市道の改良を図るものである。
	概要	下庄4号線道路改良 幅員W=4.0m 延長L=125m 羽若14号線ほか1線道路改良 幅員W=4.0m～6.0m 延長L=191m 能褒野東線道路改良 幅員W=4.0m 延長L=160m

		27年度	28年度
①	名称	工事实績路線数	計画値
	補足	用地買収が完了し道路工事を実施している路線数	実績値
②	名称		計画値
	補足		実績値
③	名称		計画値
	補足		実績値
④	名称		計画値
	補足		実績値

年度計画				年度実績			
				工事实績路線 ○路線 下庄4号線道路改良(事業完了) 能褒野東線道路改良(事業完了) 羽若14号線ほか1線道路改良(事業継続) 注:羽若15号線のみ事業完了。14号線は継続事業			
④ 事業の計画・実績	事業費		計画額	予算額	決算額	人件費	
		事業費		32,300	31,199	総人件費 ①	1,758
		国庫支出金				一般職員人件費 ②	1,758
		県支出金				所要人員 ③	0.24
		地方債				臨時職員人件費 ④	0
		その他				受益者負担額 ⑤	0
		一般財源		32,300	31,199	受益者負担率	0.0% ⑤ / ⑥
		再	翌年度への繰越額				
		掲	前年度からの繰越額				
			総人件費		①	1,758	
	総コスト		⑥	32,957			

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	3路線において事業を完了できたことで、防災性の向上を図る事ができた。 しかし、財源の都合上、羽若14号線につきましては、2ヶ年の継続工事に対応せざるをえなかった。	総合判定
			A
			順調に進んだ
	【反省点・課題】	財政難のため、継続事業で行う事が増えている。 また、自治会要望で進めた事業においても、個々の合意形成に時間を要している。	
	【改善の方向性】	生活道路整備指針や狭あい道路後退用地整備事業と連携を図り、効率的に整備を進める。 また、用地測量・買収を行った翌年に工事を実施するといった整備手法で整備を行っていく。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 道路整備室長 服部 政徳